

No.003 キャンバスに描いた文字



手描き風の輪郭を持つパスからパターンをつくり、キャンバス地を背景にしたレイアウトにカラフルな文字を配置します。

使用する主な機能
 ラフ パターン 拡大・縮小 回転
 グラデーション プラン

バリエーション



制作・文：佐々木拓人 (Con-Create Design)

パターンのベースをつくる

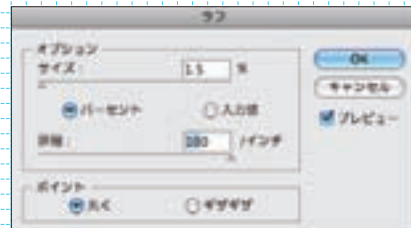
01 「楕円形ツール」でアートボードをクリックし、[幅：3 mm]、[高さ：3 mm]で適用して正円を描画し、[効果→パスの変形→ラフ]で[サイズ：1.5%]、[詳細：100 /インチ]、[丸く]を適用します。[オブジェクト→アピアランスを分割]を選択し、効果を確定しておきます。「選択ツール」で[option]+[shift] ([Alt]+[Shift])を押しながらドラッグして真横に1つ複製し、[オブジェクト→変形→変形の繰り返し] ([control]+[D])を数回繰り返します。「ペンツール」で複製した正円に重ねるようにパスを描画してから、「選択ツール」で選択し[control]+[D]を押して、正円の隙間におさまる数だけ繰り返します。

MEMO

効果メニューで設定した効果は「アピアランスパネル」から何度でも編集できますが、「オブジェクト→アピアランスを分割」を選択することで、効果を適用した後のパスが作成され、効果の編集はできなくなります。



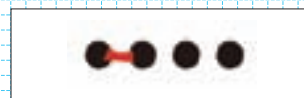
正円を描画



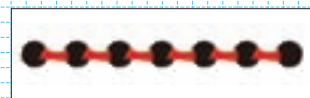
正円にラフ効果を適用し、アピアランスを分割しておく



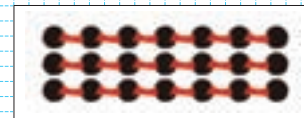
間隔を空けて真横に1つ複製し、変形の繰り返しを数回行う



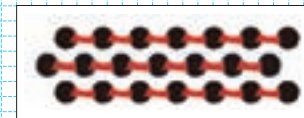
赤で示したような形のパスを描画する



変形の繰り返しで円の隙間の数だけ複製する



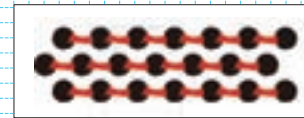
真下に複製して3段に



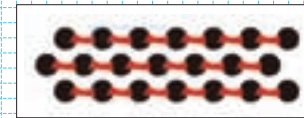
2段目を左にずらす



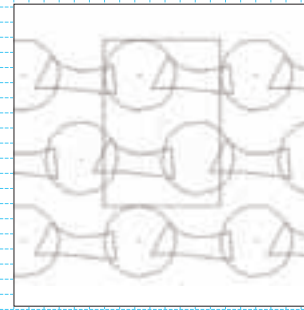
パターンの範囲にするための正方形を描画する。



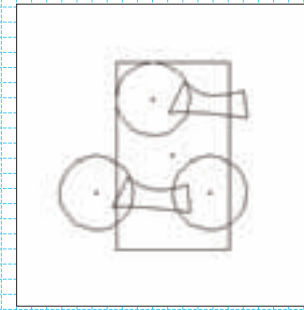
最背面に移動した正方形と、1段目の左から2番目の正円を選択



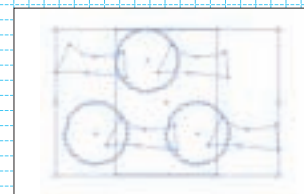
[整列パネル]で[水平方向左に整列]、[垂直方向上に整列]したもの



正方形の右辺を隣の正円の左端、下辺を3段目の正円の上端に合わせる



パターンにする範囲の外側のオブジェクトは削除



白に変更したオブジェクトと最背面の長方形を選択し、[スウォッチパネル]にドラッグ&ドロップ

02 これらをすべて選択し、[option]+[shift] ([Alt]+[Shift])を押しながらドラッグして真下に複製します。[control]+[D]を押して3段目をつくり、2段目を左に移動します。次に、パターンスウォッチとして登録する範囲を示す正方形を作成します。「長方形ツール」でアートボードをクリックし、[幅：10 mm]、[高さ：10 mm]で適用して正方形を描画し、[カラーパネル]で[塗り：なし]、[線：なし]に設定し、[オブジェクト→重ね順→最背面へ]で最背面に移動します。

03 パターンの範囲を編集します。最背面に移動した正方形と、1段目の左から2番目の正円を選択してから、もう一度同じ正円をクリックして整列のキーオブジェクトに指定します。「整列パネル」で[水平方向左に整列]と[垂直方向上に整列]をクリックします。「表示→アウトライン」([control]+[Y])でアウトラインモードに変更し、最背面の正方形を選択します。「表示→スマートガイド」がオンになっていることを確認し、バウンディングボックスまたは「ダイレクト選択ツール」で大きさを変更します。正方形の右辺は左から3番目の正円の左端、下辺は3段目の正円の上端に合わせます。この長方形の外側にあるオブジェクトを選択し、[delete] ([Delete])を押して削除しておきます。

TIPS

「整列パネル」のボタンをクリックする前に、選択されている2つ以上のオブジェクトのうち動かしたくないものをもう一度クリックしておくことで、キーオブジェクトに設定できます。キーオブジェクトは、整列のボタンをクリックしても移動しません。

04 [control]+[Y]を押してプレビューモードに戻し、正円とその間のオブジェクトを[塗り：白]に変更します。これらをすべて選択し、[スウォッチパネル]にドラッグ&ドロップして、パターンスウォッチとして登録します。